



カザフスタン 企業訪問調査レポート【6】

ALKAMED Co. ～ 製造・輸入販売業 (医療機器・医療用什器等) ～

カザフスタン共和国 Republic of Kazakhstan

基礎データ

| | |
|-------------|------------------------|
| 面積 | 272万4,900平方キロメートル |
| 人口 | 1,716万人 (2014年1月1日現在) |
| 首都 | アスタナ (人口87万人) |
| 実質GDP成長率 | 1.2% (2015年) |
| 名目GDP総額 | 1,843億5,920万ドル (2015年) |
| 1人当たりの名目GDP | 1万508ドル (2015年) |

出所: JETROホームページ 国・地域別に見る「ロシア・CIS カザフスタン概況 (2016年6月更新)」

| | |
|---------|-------------------------------------|
| ■ 調査月日 | 2015年 8月15日 |
| ■ 分野 | 製造・輸入販売業 (医療機器・医療用什器等) |
| ■ 為替レート | 1ドル≒209.422 カザフスタン テンゲ (2015年8月平均値) |

◆ 企業概要

| | | |
|------------|--|---|
| 社名 | ALKAMED Co. |  |
| 住所 : 本社/工場 | South Kazakhstan, Shymkent, Baydibek bi street Eメール: info@alkamed.kz | |
| : 連絡員事務所 | アスタナ市 (保健社会発展省やKazMedTeh社※との渉外のため) ※国営の医療機器リース会社。500～5,000万テンゲの機器を3～5年契約、リース料年5%でリースしている。 | |
| URL | http://alkamed.kz/ (ロシア語のみ) | |
| 設立年月 | 2013年 1月 | |
| 従業員数 | 35人 (本社・工場・事務所 合計) | |
| 社是 | 国内外の企業と良好な協力関係を築き、最高品質の医療機器、消耗品、什器を供給して、医療サービスの質向上に貢献する。 | |
| 社会活動 | シムケント市内の孤児院や寄宿学校への寄付を続けている。 | |

◆ 特長

ALKAMED社は南カザフスタン州にある医療機器・什器製造販売の主要企業で、大手外国メーカーの医療機器を輸入、および什器を自社生産して、全国の病院やクリニック、農村部の診療所などの医療機関を対象に、販売を展開している。またOrdaMed Kazakhstan社やKazmedpribor社 (ともにシムケント市内) など他の国内大手企業と連携し、それら企業が落札した政府調達の一部を引き受けるなど、サブコントラクターにもなっている。さらに国営医療機器リース業を行うKazMedTeh社の協力企業として、同社がリースする機器を輸入調達し、各種登録手続きやリース前のテストを行っている。他にも、これまで国内に流通していなかったリハビリ用機器と再生医療用機器の分野への事業拡大を計画しており、それら機器のライセンス生産に関しロシアメーカーと契約を結んでいる。

医療機器（輸入販売）

| | | |
|----------------|---------------|---------|
| 脊椎治療機器 | 顕微鏡 | 殺菌装置 |
| 超音波スキャナー | 物理療法・リハビリ治療機器 | 眼科用治療機器 |
| 振動音響治療機器 | 蘇生用機器 | X線装置 |
| 電気外科機器(出血液凝固機) | 麻酔用機器 | 産婦人科用機器 |

消耗品（輸入および国内調達と販売）

各種容器
タンク
廃棄物運搬ボックス
その他医療用消耗品



容器



廃棄物運搬ボックス

医療用什器（自社製造販売）

金属・ガラス製キャビネット
診察用・病室用等ベッド
移動式作業台
検査室用等テーブル
点滴用等各種スタンド など



移動式作業台



診察ベッド



手洗いスタンド

◆ 受注、仕入れ、輸出

電話やインターネット、入札等で注文を受けている。医療機器については、主にロシアのメーカーから輸入しており、リハビリ機器をはじめとするロシアの医療機器メーカーOrmed社から独占販売権を得ている。什器類については、ロシアやキルギス、ウズベキスタンにも輸出しており、注文生産も受けている。なお、配送は全て外部企業に委託している。



生産工場

◆ その他のサービス

医療関係機器の製造・輸入、販売を行うとともに、以下のサービスを行っている。

- 外国語の医療専門資料の翻訳
- 医療機関が自社の取り扱い機器を購入する際の関係当局への届け出、使用許可証取得等の支援サービス
- シムケント市内の病院を対象に、救急隊員の人工呼吸器操作指導のためのワークショップを開催



医療機関スタッフへの機器操作説明

◆ 主な取り扱いブランド

ORMED
〔ロシア〕



脊椎牽引器
水中型とベッド型の2種類があり、
マッサージ機能が付いている。



VITAFON
〔ロシア〕

振動音響療法機器



NIKOR
〔ロシア〕

電気メス、止血器



MONITOR
〔ロシア〕

各種診察機器
(肺活量計など)



BTL
〔チェコ〕

各種診察機器



MICROS
〔オーストリア〕

検査室用機器
(顕微鏡など)



SonoScape
〔中国〕

検査機器
(超音波スキャナーなど)



AVENTA
〔カザフスタン〕

人工呼吸器
(コンピュータ制御、各種センサー・アラーム付き)

◆ 売り上げ

- 総売り上げ: 5億テンゲ (2014年)
- 内訳: 80%が公立医療機関への販売と政府調達によるもの、残りの20%は民間医療機関への販売。

◆ 販売促進

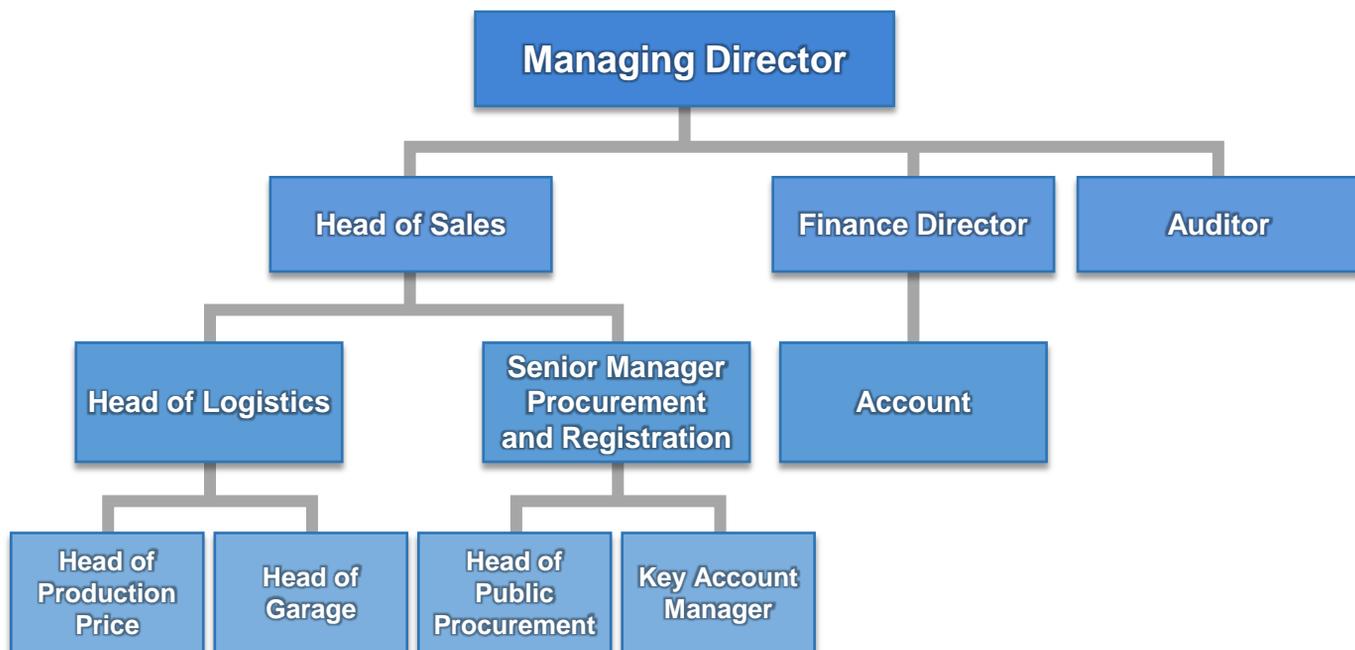
- 国内各種展示会への出展
- 顧客に対し、納品・据え付けの期限を厳守し、その他のサービスを確実に行う
- ロシア、ウズベキスタン、国内にある同社製品の販売店にその地での独占販売権を与えている

◆ 競合他社 ※すべて国内企業

- OrdaMed
- West Trading
- Kazmedpribor
- Pharmacom
- Zein
- Eltem
- Adamant
- Gelika
- Labtime 等

JETRO

Copyright (C) 2016 JETRO. All rights reserved.



◆ 日本企業へ期待すること、進出に当たっての留意点

ALKAMED社関係者は、常に医療機器や医療用消耗品の新たな調達先を国外企業に求めており、日本企業とのビジネスにも強い関心を持っている。

課題のひとつは、操作方法指導やメンテナンスなどのアフターサービスにある。かつて、日本政府から40台の救急車や除細動器など各種の設備が提供されたが、操作方法の細かい指導、機材のメンテナンスや修理ができるエンジニアが存在せず、設備が故障したあと使用できなくなったケースもあった。保健社会発展省ではこうした点を受け、90年代中頃から医療機器メーカーや代理店に対し、アフターサービス・保証期間の設定を推奨している。多くの外国企業は、モスクワにサービスセンターを設けているケースが多いが、カザフスタン側は同国内にサービス拠点を設置することを希望している。国内の医療関係者の間では、先進技術や品質面から日本製機器の導入への期待もある。なお、カザフスタンでは、500万テンゲまでの機器であれば各医療機関が直接購入することができ、5,000万テンゲを超えるものについては、購入前に保健社会発展省と事前協議する必要がある。

◆ まとめ

これまで、アスタナとアルマトイなど大都市の医療拡充に力が注がれ、人口の約70%が住む農村部には十分な医療機器が必ずしも行きわたっていない。政府では2017年から国民皆保険制導入を計画しており、それにより農村部の医療拡充をはじめ、医療市場の開発や医療分野への投資呼び込みの促進が期待されている。既に民間の医療施設も増えてきており、ALKAMED社などの企業への需要も増加するものと思われる。